

2005 年日韓教授統一思想研究会

「現代文化と統一思想」

学問の基礎としての統一思想と
純潔学のアイデンティティ

イ・ジェイル

鮮文大学校純潔学部教授

千葉県浦安市：一心特別研修院

共 催：統一思想研究院 / P A R P 後 援：世界平和教授アカデミー

2005 年 8 月 27 日—28 日

学問の基礎としての統一思想と純潔学のアイデンティティ

イ・ジェイル

鮮文大学校純潔学部教授

I. 序論

純潔学は1999年鮮文大学に純潔学科が設立されて始まった。1999年から今までは純潔学の研究は成り立ち得なかった。今まで純潔学に関連したいくつかの研究はあるが、まだ純潔学のアイデンティティに関する研究は充分でない状態である。¹ 従って純潔学の学問的アイデンティティを確立するために純潔学の性格を論議する必要がある。

学問の性格を論ずる「学問に関する研究」または「学問に関する学問」は学問論と呼ばれるが、それは学問の目的、方法、基礎、根本原理、前提、分類などを扱う。² 私のこの論文は純潔学という学問に関する研究である。純潔学の定義、理念の基礎と性格、領域や構造について検討し、その学問的アイデンティティをもう少し明らかにしようとするのが目的である。

まず純潔学の理念的基礎になる統一思想の世界観と人間観を見てみよう。³ そして純潔についての概念的理解とともに純潔学に関する定義を探究し、統一思想を理念的基礎とする純潔学の性格をいくつかに分けて新しく理解しようとする。次に、純潔学の学問的対象たる領域を確認し、これを土台として学問的構造を構案する。

II. 純潔学の基礎としての統一思想と純潔学の定義及びその性格

1. 純潔学の理念的基礎としての統一思想

純潔学には文鮮明先生の思想が反映されている。文先生の思想は統一思想に体系化されている。従って、純潔学は統一思想を理念的基礎にしていると言える。文鮮明先生は、「人生と宇宙の根本問題を解決」するために、「神様と霊交する中ですべての天倫の秘密を明かしたお方」⁴ として、人類の願いである理想世界を地上に建設しようと統一運動を主導して来られた。このような統一運動の思想的基盤になるのが統一思想である。

統一思想は人類の親にしてすべての宗教を立てた最高の中心である神の真の愛によって、対立する諸民族と諸宗教を和解させて人類一家族の理念を実現すると共に、人類のすべての難問題を根本的に解決することによって、永遠なる神の真の愛による理想世界を創建しようとする神様の思想である。⁵

統一思想によれば、宇宙は心情と愛を本質にする神の創造活動の結果である。神の属性は絶対、唯一、永遠、不変である。この世の中は見える有形実体世界(自然界)と見えない無形実体世界(霊界)で構成されており、人間は地上で霊肉一緒にした存在として生き、肉身を脱げば霊界で永遠に生きるようになっている。神は喜ぼうとする心情的動機によって宇宙を創造し、神を中心に人間と森羅万象が調和して存在する理想世界を成そうとした。人間は真の愛によって完全に成

長し、神の子としての資格を持って、宇宙を愛で主管して神に喜びを返さなければならない存在である。言い換えれば、人間は個性完成、家庭完成、主管性完成の三大祝福を成就しなければならない課題を持った存在である。

しかし、人間始祖の不倫の愛による墮落によって人類は罪惡に陥り、神の子と宇宙の主管者としての資格を喪失した。墮落した人間は悲しみと苦痛の中に生き、神に喜びではなく悲しみと苦痛を与える存在になった。そしてこのような人間が生きて行くこの世の中はサタンを中心にした世界、すなわち地獄になってしまった。

それで人類の親たる神は人間を罪惡から救援しようと復帰摂理を展開している。神の子と同時に宇宙の中心存在として創造された人間は神の救援摂理に従うことによって墮落以前の本来の状態に帰らなければならないし、ひいては三大祝福を実現しなければならない。不倫の愛によって墮落した人間は真の愛によって復帰され完成しなければならない。

統一思想の目標は大きく二つに分けられる。第一に、既存のすべての思想を統一することである。思想の統一と言うのは既存思想を秩序化する思想の階層を形成することである。統一思想はこのような過程を完成し、既存の思想が解決することができずに残してきた根本問題を解決する。⁶ 第二に、人類の問題を解決することである。洋の東西を問わず、人類の抱える問題は存在の問題と関係の問題であるが、このような問題は人類が神を理解するならば解決することができる。統一思想は人類の問題を神に関する明確な理解に基づいて解決しようとする。⁷

以上のような世界観と人間観を持って、既存の思想を統一して人類の現実問題を解決することを目標にする統一思想は神を中心とした本来の人間、家庭、社会を構造化してこのような世界を指向する思想である。従って、統一思想は神主義に基づく思想と呼ばれる。

このような統一思想が純潔学の理念的基盤を提供する。統一思想は神と人間と世界についての総合的な説明として純潔学の性格を定立する上で決定的な影響を及ぼす。

2. 純潔学の定義とその性格

1) 純潔学の定義

学問は探求行為としての次元とその結果である知識の次元で構成される。⁸ 人間の探求行為とは対象に対して体系的に考え、事理を問い詰める行為を言う。知識の次元とは知識の体系であると言える。特定の学問が体系的な知識を取り揃えているということはその知識体系を構成する下位要素が「一定の基準や原理によってお互いに有機的な関係を形成して相互緊密に秩序づけられて」いることを意味する。⁹ だから学問と言うのは体系的な探求行為とその結果として形成される知識体系を意味する。このような面で純潔学は純潔に関する体系的な探求行為とその結果としての知識体系である、と言える。

では純潔とは何を意味するか?純潔学に関する定義を下す前に、純潔の意味についての理解が必要である。純潔についての辞書の定義は、「損なわれたことがなく、純粹できれいであること」、または「異性との性的な関係が無く、身と心がきれいなこと」などとなっている。英語圏では、純潔に関する用語としては、汚れない状態のことをいうInnocence、心の無傷状態のことをいうPurity、性的行動がない童貞状態のことをいうChastityなどがある。言語というものは言語が

使われる社会と歴史的状況によって意味が変わることがあり得る。純潔の意味も社会と歴史の脈絡でよく見る必要がある。長年の男性中心的な歴史を維持して来た社会において純潔という概念は未婚女性の貞節に焦点が当てられていた。それで性の解放を主張する人々は純潔を旧時代の遺物であり、性的不平等を固着しようとする不純な意図を持ったイデオロギーの象徴と見たりもする。

純潔に関する統一思想の観点はどうであろうか？ 統一思想によれば、人類の諸問題の根本原因は愛の誤用である。すなわち、人類は淫乱によって神の懷を離れ、偽りと醜さとあらゆる罪悪を行って不幸の中で喘いでいる。このような人類が作ってきた文明や歴史もやはり不倫と罪悪で満たされた歴史であり、文明である。それ故に、愛の神は人類を救援しようと復帰摂理を展開してこられたのである。淫乱によって墮落した人類は純潔によって本然の状態に復帰しなければならない。

純潔の意味をもう少し明瞭に理解するためには、統一運動に現われた類似の概念を探求する必要がある。純潔と密接に関係する概念に「絶対的性」(absolute sex)というものがある。絶対的性とはfree sexの反意語である。¹⁰ free sexが性行為にいかなる基準や制限もないことを意味するとしたら、絶対的性とは神の絶対的な基準を中心した性行為を意味する。¹¹ 言い換えれば、絶対、唯一、不変かつ永遠なる神の愛を中心して夫と妻の間に成り立つ愛の行為が絶対的性である。¹² これはもちろん結婚の前の童貞を含む概念である。

一般的に純潔という用語は、未婚男女の童貞を意味するものとして、または未婚と既婚を問わず守らなければならない性的貞節の意味で使われる。統一運動では通常的に純潔と絶対的性が未婚の男女が守らなければならない性的禁欲と結婚以後の夫婦が守らなければならない貞節を意味する言葉と規定され、これらはほとんど同じ概念で使われたりもする。¹³

人間は神の真の愛を体得することによって、神の創造目的を完成した理想的な人間になることができる。¹⁴ 純潔と絶対的性は神の真の愛を体得して完全な人間になるための必須条件である。神を中心として肉体的にも精神的にも純粋な男女が夫婦になってお互いに貞節を守りながら生きることが真の愛を実現して真の家庭を実現する道である。¹⁵

純潔という用語は純潔学の世界でどのように定義されているであろうか？ 純潔学に関する学術的論文において純潔の意味は二重的に規定されている。まず、狭義では本然の人格完成のために精神と肉体の純粋な男女が夫婦となり、人格的な関係を土台にして性関係を結ぶことを意味する。次に、広義では人格完成と人間の存在目的を成就するために生活のすべての領域で純粋で正直な倫理道徳的態度を持つことを意味する。¹⁶ ここでの純潔は男女すべてにおいて、又結婚前であれ後であれ常に該当することであり、性行為だけでなくすべての行為、さらには生活態度において純粋性を守ることへと拡大された。特にそれは夫婦間の性関係において「真の愛を完成するために肉体的快楽の次元を越えて本性の心を土台にした」尊厳性と責任性が伴わなければならないことを強調する。従って、純潔のことを「真の愛を完成するための出発点ないし土台になる基礎徳目」として理解するのである。¹⁷

それでは純潔学とはどのように定義されるか？ 純潔学は狭義的には、「個人が家庭で純潔に生きるように助ける学問」、広義的には、「人類の生が倫理道徳的に純潔になるように助ける学

問」と定義される。¹⁸ このような観点は純潔な生の実践現場を個人や家庭の次元で見るのか、それとも世界の次元で見るのか、そして性的純潔に焦点を置くのか、それとも倫理的で道徳的な純潔まで拡張して規定したものとするのかによるのである。純潔学は人間が個人、家庭、社会の領域で性的におよび倫理的に純潔に生きるように研究する学問である。

純潔学は個人と家庭と社会の領域で人類が純潔に生きるように導く純潔運動を広げるための学問的基盤を形成しなければならない責任と使命を持つ。

2) 純潔学の性格

純潔学が統一思想を理念的基礎にするということはいかなる意味を持つであろうか？ この論文では純潔学を神主義に根拠した学問、現実問題を解決する学問、統合的な視角を堅持する学問、均衡教育を志向する学問、純潔価値観を研究して教える学問という観点で論述しようとする。¹⁹

(1) 純潔学は統一思想が提示する神主義に基づく学問である

純潔学は神主義に根拠しているからその世界観や人間観も神主義に根拠する。具体的には、純潔学は人間の本質、存在構造、存在目的において神主義の理解に基づく。すなわち、神の被造物である人間の本性は神の神相と神性に似ているし、人間の存在構造は陽性と陰性の調和体である神に似て男と女が相互調和的な夫婦関係を維持して生きていくようになっているし、人間の存在目的は個体の人格的成熟、円満な家族関係を成す家庭の形成、自然と物質世界の愛を意味する三大祝福の成就にあるとみる。²⁰

純潔学の使命や究極的目的を言う純潔学の理念も統一思想の神主義が提示する人間の存在目的を中心に構成される。それ故、純潔学の理念とは、第一に、人間が本然の愛を実践して神に似た人格者になること、第二に、一夫一婦制の夫婦関係を中心に、親、夫婦、子供、兄弟姉妹の愛を実践することによって家族構成員全体が健全で睦まじい関係を維持すること、第三に、神を中心として平和で恵まれた人類大家族社会を成すことだと言うことができる。²¹

近代の自然科学的な考え方に影響を受けた今日の世界は、検証が可能なことにだけ現実性と価値を付与しようとする。そして物質的な法則に寄り掛かろうとする傾向が強い。しかし人間は魂と肉身から構成されており、世界は霊界と肉界から構成されている。純潔学は見えない世界と交流する魂や精神の価値を重視し、人間が霊界を知ることにより正しい人生の道を行くことができると見る。

(2) 純潔学は現実問題を解決する学問である

統一思想は人類が直面している現実問題の中で根本になる宗教と思想の問題を解決するのに焦点を置く。純潔学は人類が直面している問題の中で性倫理の紊乱を根本問題の一つと見てこの問題の解決に関心を置く。

性倫理の紊乱という現実問題の解決を志向する純潔学は真の愛と純潔な生の世界そして偽りの愛と不倫の生の世界を分析して、誤った生の背景と原因を性倫理という領域で探し出して問題を解決しようとする。このようにすることで純潔学は社会の純潔化を追求する。

純潔学は人間の真に純潔な生を研究することはもちろん、純潔と真の愛の価値を重視してこれを探求する。そして人間は霊魂と肉身で構成された人格体であることを認識して、霊魂と人格の成長と発達に純潔と真の愛が重要な要素であることを明らかにしなければならない。さらには純潔と真の愛が個人と家庭と社会の福祉と平和にとって核心的要素であることを明らかにして、社会問題の解決のための出発点が純潔と真の愛にあることを主張しなければならない。

純潔な人間、家庭、社会の形成を理念とする純潔学は、人間の完成、家庭の調和、社会の成熟のために努力しなければならない。このために人文科学、社会科学、自然科学を連関させなければならない。純潔な個人、家庭、社会の実現のために多くの学問を総合して純潔学として定立することができなければならないであろう。²²

(3) 純潔学は統一思想の統合的な視角を指向する

現代においては学問の世界が細分化され専門化されている。新しい個別学問の出現は新しい探求の対象や新しい探求方法または異質な知識が現われる時に可能になる。個別学問の出現は複合的で多面的な世界を多様に区分して認識するように導く。現代の学問はあまりにも細分化され個別学問の間に障壁を造っている。お互いに違う分野を専攻する学者たち相互間には意思疎通が不足し、隣接する学問の間にも断絶現象を見せている。²³

今日の専門家たちは、「専門化の野蛮性」に陥っている。現代の学者や専門家は自分の専門分野に対しては理解が深いが、他の分野に対しては無知である。すなわち、専門化の結果として、学者は多いが教養人が少ない状況にある。その上、逆説的にもこのような専門家たちは他の分野に無知でありながら、その分野の専門家の意見を受け入れない。²⁴

このような現実においては個別学問の統合が要請される。学問の統合方向はまず隣接学問の間で試みることができるし、次にはもう少し広い範囲である人文科学、社会科学、自然科学の内部で、またはそれらの相互の間で試みることができるよう。また新しい学問に統合することもでき、個別学問の間の境界領域にある主題を中心に隣接学問が繋がれることもできるであろう。²⁵ 今日では、人間現象と自然現象が複雑に絡んでおり、多様な学問がお互いに連帯して問題に接近することによってその実体を把握することができるようになった。そして学問的領域の境界を崩して学問の間の距離を狭めようとする試みが学際間研究として場所を得るようになっている。

統一思想は神を中心にした人類大家族社会の実現を指向する。統一思想は、科学は人間の外的無知を克服する手段として、内的無知を克服する宗教と調和しなければならないと見る。このような統一思想は個別学問に全体的で統合的な視角を提供することができる。それ故、純潔学は統一思想の観点から、問題状況や研究対象に対してある一側面や部分ではなく、全体的で統合的な視角から探求しようとする。さらに純潔学は純潔な性を目指として多様な分科学問の理論を統合して一つの一貫した理論に体系化しようとする。

(4) 純潔学は教養教育と専門職業教育の均衡を維持しようとする

統一思想は教育の窮極の目的を三大祝福の実現であると理解し、教育を普遍教育と個別教育に分けて、普遍教育の基盤の上に個別教育が成り立つ均衡教育を主張する。²⁶ 言い換えれば、

人格者になることを目指す教養教育を誰にも実施して、その基盤の上に専門的な職業教育を個人の趣向と素質に合わせて実施しなければならないというのである。²⁷

今日の学問世界は学問の発展と分化により、個人が一生の間に習得するにも不可能な知識を蓄積した。しかし、社会は特定分野で専門的な識見を備えた専門家を要求している。そのため、学習者としては特定の学問と知識を選択して習得するしかなくなったし、教育界は教養教育より専門職業教育を強調する趨勢である。それ故、人間の理解と人間性涵養のための人文学より社会の理解と問題解決のための社会科学や自然の理解と利用のための自然科学が強調されている。

伝統社会では人文学的素養を備えた人を羨望した。人文学は人を人らしくするという教養の意味を持つ。このような人文学は西欧で13世紀に神学、法学、医学を勉強する前に必要な予備学問として採択されて教養科目と呼ばれた。基礎過程である教養科目の徹底的な学習は上位課程の学問間の交流を活性化し、統合的な専門家の養成に寄与した。²⁸ 一方、東北アジアの漢字文化圏では西欧列強の侵入を受ける前まで人文学を崇尚する儒学的伝統が綿綿と受け継がれて来た。人文学とされる文学、史学、哲学を中心とした学問活動は士大夫の学問として尊重されたのであった。

しかし、洋の東西を問わず現代社会では人間性涵養のための人文学的伝統が弱化している。今日の学問世界は自分の専門分野だけではなく、他の分野を認めてその分野と協力して社会を全体的に見ることのできる教養人を養成する道を模索しなければならない。学問する過程自体から人文科学と社会科学及び自然科学を総合する主題を選んで全体的で均衡的な思考をするように導かなければならないのである。²⁹

統一思想の均衡教育の概念は今日の教養教育と専門職業教育の不均衡問題を解決するのに示唆するところが大きい。純潔学は人間性涵養のための価値観教育をはじめとした教養教育の基盤の上に純潔運動のリーダーとして資質を開発する専門職業教育を実施することによって両者のバランスを指向する。

(5) 純潔学は純潔価値観を研究して教える純潔教育学である

純潔学は人間の本质は倫理的な行為として現われると見て、人間の倫理的側面に関心を集中する。倫理学というのは人間の行為に対する道徳的な価値判断と規範を研究する学問である。純潔学は統一思想の観点に従って宇宙の法則が個人と家庭に適用されたものが道徳と倫理であり、人間は道徳と倫理の法則に従う時に、人間らしく生きて行くことができるを見る。³⁰ 純潔学は人間性の涵養を指向する。人間性とは人間の思考と感情と行動から人間らしさを現わす特性を言う。純潔学は純潔が人間らしさを表現する核的価値の一つだと見る。今日の社会は人間の自由を尊重しながら多様な価値追求を許容している。その結果、人類の生活方式が自由の程度を越えて放縦に流れている。特に、性の放縦と逸脱は深刻な状態に至った。このような現実において純潔学は純潔の価値を中心とした性倫理の定立を追求する。

統一思想は神主義に根拠した絶対価値観を定立しようとして絶対価値観を前提とした価値観改革運動を支援する。³¹ 価値観の定立と改革のための運動には価値の性格と位階秩序及び価値体系に関する分析が必須的な課題であるべきである。³² 純潔学は絶対価値体系の定立に同参し

ようとする。現代社会の価値観混乱問題を克服しようとするれば望ましい価値観を探さなければならぬ。望ましい価値観とは人間が人間らしい存在として生きて行くのを助け、誰もが納得することができる普遍的な価値であるはずである。望ましい価値観の探求活動においては価値観の内容も重要だが、価値観をどのように追求して適用するかという価値観形成の過程と方法も重要である。これは価値観の形成と教育に関係する問題である。

純潔学は価値観の定立と同時に価値観の教育を推進する。ところで価値観の教育は知識や技術の教育とは違う。価値観教育は人間の行為の中に内在した道徳的意味と価値を学習者が自ら把握するように導いてくれるのだ。学習者が道徳的意味と価値を把握することは学習者自分の直観や覚醒の行為としてこれは個人的で史蹟な事件だ。教師は学習者を間接的に助けるだけである。

³³ 純潔学はこのような価値観教育問題を学問の領域で包容する。

純潔学は社会の純潔化のために社会構成員の純潔教育を指向する。性教育学が性に関する教育を追求するとすれば、純潔学も性教育学の内容の一部を包容することができる。純潔学は真の愛を指向する性倫理を定立してこれを教育しようとする学問である。だから純潔学は純潔な価値観を定立してこれを実現するように教育しようとする。このような面で純潔学は純潔教育を研究する純潔教育学でありつつ、純潔な性の価値を指向する純潔価値観教育学にならないのである。³⁴

III. 純潔学の領域と構造

学問の領域は学問の対象の世界とその対象に対する分類を意味するが、これは学問の構造を形成する基礎になる。³⁵ 純潔学の領域は純潔学の定義、研究の目的、対象の内容と性格が何であるかによって異なったものに分類することができる。前に論議したように、純潔学は純潔な個人、家庭、社会の実現を指向しながら神主義に立脚して性と純潔を探求する学問である。純潔学の領域はこのような性格と内容を勘案して規定されなければならないのである。

学問分類の歴史はプラトンとアリストテレスから始まる。プラトンの学問分類として知られた方式は哲学を倫理学、自然学、論理学に分けるものであった。³⁶ アリストテレスは学問の対象領域の性格と目的を中心に学問を分類したが、知ること自体が目的である理論学（自然学、数学、形而上学）、望ましい実践を目的にする実践学（政治学、倫理学、経済学）、立派な製品の生産を目的にする製作学（芸術）がそれである。³⁷ この論文はこのような学問間の分類ではなく学問内の分類すなわち、特定の学問の領域を細分することに関心を置く。学問内の分類は学問間の分類から示唆を受けるところが多い。

学問内の分類、すなわち、特定の学問の領域を分類するにはいろいろな方式があり得る。統一思想の教育論は教育学を教育の性相的側面と形状的側面に分ける。すなわち、教育学を教育の基本原理たる教育の本質、目的、理念を扱う教育哲学と教育の客観的事実たる教育の制度、行政、法規、過程を扱う教育科学に区分する。³⁸ もしこれに従えば、純潔学は純潔や純潔学の本質、目的、理念を扱う純潔哲学と純潔や純潔学の現実、文化、政策、過程を扱う純潔科学に区分することができる。一方、これよりもう少し細分すれば、学問の領域は哲学、事実学、実践学、道具学に区分することもある。³⁹

前で論議したように、純潔学の特性は統一思想を理念的基礎にするという理念的側面から現われる。そして純潔学は性と純潔という主題を中心に人間の生の現実を把握し、現実の人間をして純潔な生を営むことができるように指導し、教育しなければならない。すなわち、生の現場たる個人、家庭、社会において児童、青少年、成人につながる一生において純潔に生きるように案内しなければならない。それ故、純潔学の領域と構造を論ずるにおいても、純潔学の理念的特性と人間の生の現実を必ず考慮しなければならない。

この研究では純潔学を純潔の理念を扱う理念学、純潔と性の現実を扱う事実学、純潔の実践を扱う実践学、純潔の方法を扱う道具学に分類する。この分類に従って、四分野の性格をもう少し分け、該当する科目を提示して次のように構成した。

純潔理念学：	純潔学の本質、目的、理念	-- 聖書と原理、統一思想、御言学、世界平和思想 生活指導、靈性啓発
純潔事実学：	性と純潔の現実、文化	-- 結婚と家族、性と心理、性の社会学、性と文化、 発達心理学、人体と生命
純潔実践学：	実践の原則	-- 純潔学原論、性教育学、純潔人間論、純潔事業実習
	場の次元	-- 純潔家庭論、純潔学校論、純潔社会論
	生活与える次元	-- 児童/青少年/大人純潔[事業]では
	制度の次元	-- 純潔政策論
	指導者	-- 純潔指導者論、自然奉仕論
純潔方法論：	純潔の論理と方法	-- 純潔論理学、純潔学研究方法論、純潔事業道具論

IV. 結論

純潔学の胎動は文鮮明先生の提案によるものであった。純潔学科が1999年に鮮文大学に設立され、純潔学という学問が始まった。純潔学の性格とアイデンティティについての研究が充分でない状態で、この研究は純潔学の定義、領域、構造、方法について検討し、その学問的性格をもう少し明らかにしようとする目的を持つ。従って、純潔学の理念的基礎になる統一思想を調べて見たり、純潔についての概念的理解とともに純潔学に関する定義を探したり、統一思想を理念的基礎にする純潔学の性格をいくつかに分けて探求したり、純潔学の学問的对象による領域を確認し、これらを土台として学問的構造を具案した。

この研究は下のような事項を今後の研究課題として残している。第一に、純潔学の理念的基礎が全体の性格を持つということである。純潔学の理念的基礎である統一思想は信仰体系の思想的な応用であり、展開である。これは理論的なり実践的に検証されたことというよりは検証されなければならない対象である。それ故、純潔学の理念的基礎は仮説と言うよりは前提だと言うことができる。仮説とはある理論を導き出すために臨時的に定めた命題として、該当する論文の中で真偽を糾明しなければならない臨時的な学説であり理論であるとすれば、前提とは該当する論文の論理展開にとって基礎となる臨時的な理論であるが、当該論文では真偽を糾明することが

できないものと言うことができる。学問の活動とは仮説はもちろん、前提さえも検証してその真偽を判断しようとする努力なので、純潔学の世界ではその理念的基礎に対する持続的な論議がなされなければならないのである。

第二は、純潔学科の教育に関することである。この論文は純潔学の性格とアイデンティティに対する関心が一次的であるために、鮮文大学校純潔学科における教育に関心を置くことはできなかった。純潔学科の教育に関することとは教育の内容と方法に関すること及び純潔学科の性格に関することである。教育の内容と方法の問題は教科課程の改善と教育方法の開発に関連する。純潔学科の性格問題は純潔学の性格に大きく影響を受ける。

第三は、純潔学の研究方法に関することである。独立した学問は自らの研究方法を確保していなければならない。この論文ではこれを扱うことはできなかった。

このような論議の過程で純潔学はまだよちよち歩きの段階にあり、今後多くの研究が必要であることを今更ながら感じる事ができた。特に学問としての純潔学自体の短い歴史、純潔学に対する研究者の関心と研究の年輪不足、鮮文大学校純潔学科で純潔学が教えられた経験の微弱さは研究においても限界点に近付いてきた。

純潔学という学問はその学問共同体の産物である。今日の大学は学問共同体の典型である。純潔学のアイデンティティを探求するために鮮文大学の純潔学科に注目することは当然の事である。それにもかかわらず、この研究では「純潔学」という学問に関心を置いただけで、「純潔学科」には関心を置くことができなかった。

何かを探求するという事は探求する対象に対して簡単に断言するのではなく、探究者の考えと経験を総体的に動員し、その対象を新しく認識して進んでいくことである。この時、主体による対象の認識はその主体の意識水準を反映するので、その認識は主体の意識水準に制限される。探究者が対象を新しく認識して進んでいくことは、即ち、認識の主体が新しく変貌することである。⁴⁰ 性と純潔を研究対象にする純潔学は純潔学者の理論的探求活動と教育活動を通して確認され、検証されて発展するのである。この研究によって、純潔学に関する学問的性格を論議する研究が活性化することを期待するものである。

注

1) Gregory Breland, “A Unification Perspective on Sex Education in American Public Schools,” 『統一思想研究論叢』、鮮文大学校統一思想研究院、1996年。

ムン・サンヘ、「統一思想から見た純潔学の理念と教育内容のための試論的研究」、『統一思想研究論叢』第10集、鮮文大学校統一思想研究院、1998年。

Akifumi Otani, “An Idea for Pure Love Education and Unification Thought (統一思想と純潔教育の理念)” 『統一思想研究』第1集、統一思想学会、2000年。

オ・テクヨン、「真のお父さまの御言から見た絶対的性の意味」、『御言と神学』第7集、鮮

文大大学院神学部、2001年。

イ・サンホン、「フリーセックス時代の終焉」、『頭翼時代の到来』、鮮文大大学院統一思想研究院、2001年。

キム・ケジョン、「正しい性教育の方向」、『統一思想研究』4集、統一思想学会、2003年。

大池直樹、「日本の性教育に関する研究 一人間と性教育研究協議会と Pure Love Alliance の比較研究一、修士学位論文、鮮文大大学院神学大学院、2003年。

(A Study of Sex Education in Japan - A Comparative Study between Association of 'Human and Sex' Education and the Organization of Pure Love Movement (Pure Love Alliance).

Sang-Huy Moon, *Pure Love Studies: Origins, Preliminary Outcomes, and Future Directions* (Dissertation, University of Bridgeport, Connecticut, 2004)

- 2) チャン・サンホ、『学問と教育』[上](ソウル: ソウル大学出版部、1998), p. 7.
- 3) 統一思想は文鮮明先生の教えである統一原理を哲学的に応用したものであるが、ここでは先生の御言葉と統一原理を含むものと規定する。
- 4) 統一思想研究院、『統一思想要綱』(ソウル: 成和出版社、1993), p. 2.
- 5) キリスト教統一神霊協会、『原理講論』(ソウル: 聖火齣版社、1994), p. 18.
- 6) Unification Thought Institute, *Explaining Unification Thought* (New York: Unification Thought Institute, 1981), pp. xxi-xxii.
- 7) 前掲書、pp. xxiii-xxiv.
- 8) パク・ソンヨン、「仏教教育学の学問的性格」、『宗教教育学研究』第1冊、韓国宗教教育学会、1995. 8., pp. 36-37.
- 9) パク・ソンヨン、前掲書、p.37
- 10) 世界平和統一家庭連合編、「宇宙の根本を捜して」、『真の家庭と世界平和』(ソウル: 成和社、2000), p. 146.
- 11) オ・テクヨン、前掲書、p. 99.
- 12) 世界平和統一家庭連合編、「宇宙の根本を捜して」、pp. 147-148.
- 13) ムン・サンヘ、博士論文、p. 12.
- 14) 世界平和統一家庭連合編、「救援摂理史の原理観」、『真の家庭と世界平和』(ソウル: 成和社、2000) p.106.
- 15) Sang Huy, Moon, 博士論文、p.18.
- 16) ムン・サンヘ、前掲論文、p. 189.
- 17) ムン・サンヘ、前掲論文 p. 189.
- 18) ムン・サンヘ、前掲論文 p. 190.
- 19) ここでの論議は純潔学に対する所望を表明する叙述である。歴史が短い純潔学はその性格とアイデンティティを形成していく過程にあるために、純潔学の学問活動として現われ蓄積された結果を対象として、その性格を糾明するよりは予測して期待する叙述であるしかない。
- 20) ムン・サンヘ、前掲論文、pp. 190-202.

- 21) ムン・サンヘ、前掲論文 pp. 203-204.
- 22) ムン・サンヘ、前掲論文、pp. 219-220.
- 23) チャン・サンホ、前掲書、 pp. 557-560.
- 24) Jose Ortega y Gasset, *The Revolt of the Masses* (New York: W. W. Norton & Co., 1932), pp. 107-114. シム・イルソブ訳、『大衆の反乱』(ソウル: クンヨク書籍、1979), pp. 141-121.
- 25) チャン・サンホ、前掲書、 pp. 560-571.
- 26) 『統一思想要綱』 教育論参照。教育を普遍教育と個別教育に区分する場合には、誤解と混乱をもたらす可能性がある。教育の普及程度を表現する普遍教育に対応する概念は 特殊教育である。個別教育は集団教育に対応する概念として、個別教育と集団教育は教育活動において教師が学生を個別的に相対するのか集団的に相対するのかを規定する用語である。 『教育学用語辞典』(ソウル: 東南企画、2002) 参照。
- 27) 教育的には一般の基礎的教育とは違い特定の業務に必要な知識や機能の養成を目的とする教育を専門教育(professional education)と言い、すべての人に共通する一般的で基礎的な教育を普通教育(Common education)と言う。[『教育学大辞書(ソウル: 教育社刊、1993); 『教育学用語辞典』 参照] しかし、よく専門教育または職業教育に対比される用語として教養教育を使用する。もう少し厳密に区分すれば、人間として備えなければならない一般的素養を涵養する教育を一般教養教育と言い、って、特定の職業のための専門的知識と技術の教育を専門職業教育と言わなければならない。
- 28) パク・ソンヨン、前掲論文、 pp. 72-74.
- 29) チャン・サンホ、前掲書、 p. 610.
- 30) 『統一思想要綱』 pp. 221-224.
- 31) 『統一思想要綱』 価値論参照; 成和社編集部, 『絶対価値と新しい世界の創造』(ソウル: 成和社、1981); 国際勝共連合、『新しい価値観の定立』(ソウル: 未来文化社、1982) 参照。
- 32) コ・ボムソ、『価値観研究』(ソウル: ナナム、1993) 参照。
- 33) イ・ケハク、「価値観教育とは何か」 1、2、3、『教育開発』85、86、87号、韓国教育開発院、1993. 8. 10. & 1994. 1.
- 34) このように純潔学は純潔に関する論議だけではなく、純潔を広げて教育する学問、すなわち、純潔教育学の性格を内包する。純潔教育に焦点を当てて純潔学の性格を考慮して見ようとするならば、次のような方向で定立しなければならない。第一は、純潔に関する論理の形成である。この過程では純潔の論理は主観的であるより客観的であるほど、より水準が高く、説得力のある論理になる。第二は、純潔の論理に基づく自己の確信である。すなわち、学生に純潔についての論理を習得し、自分に確信ができるように指導しなければならない。これを純潔価値観定立と言うことができる。第三に、純潔の論理に基づく自己の確信、すなわち、純潔価値観を相手に論理的に展開することができなければならない。これは純潔の論理と純潔に対する自己の確信に基づく自己の意思を伝達する表現力が正確でなければならないということである。第四に、純潔の論理に基づく自己の確信の中で相手を実際に説得することである。これは人を説得して導いて行く指導力備えることによって可能となるのである。

- 35) パク・ソンヨン、前掲論文、 p. 36.
- 36) パク・スンチャン、「学問間の連繋性 -中世大学の学問分類と教科課程に対する考察-」、『哲学』第74集、韓国哲学会、2003年春季号、 pp. 57-58.
- 37) ソ・カンヒ、『現代学問の体系 — 大学で何を学ぶべきか』(ソウル: 閔雲社、1994), pp. 60-63; チャン・サンホ、『学問と教育』[上], p. 462から再引用。
- 38) 統一思想研究院、『統一思想教本』(統一思想研究院出版部、1994), pp. 149, 161; 『統一思想要綱』 p.344.
- 39) それは第一に、「存在としての事実それ自体を客観的に究明する事実学」、第二に、「実践を通して成就しなければならない課題としての価値や規範の原理を明らかにしようとする実践学」、第三に、「学問探求で活用される道具の合理性や妥当性の原理を探求する道具学」である。[パク・ソンヨン、前掲論文 p. 42.]
- 40) チャン・サンホ、前掲書、 pp .157-158.

参考文献

『教育拡大辞書(ソウル: 教育書観、 1993)

『教育学用語辞典(ソウル: 東南企画、 2002)

コ・ボムソ、『価値観研究』(ソウル: ナナム、 1993)

キム・ケジョン、「正しい性教育の方向」、『統一思想研究』4集、統一思想学会、2003

ムン・サンヘ、「統一思想から見た純潔学の理念と教育内容のための試論的研究」、『統一思想研究論叢』第10集、鮮文大学校統一思想研究院、2002

パク・ソンヨン、「仏教教育学の学問的性格」、『宗教教育学研究』第1冊、韓国宗教教育学会、1995. 8.

世界キリスト教統一神霊協会、『原理講論』(ソウル: 成和出版社、1994)

世界平和教授協議会編、『学問の現代的認識』(ソウル: 一念、1982)

世界平和統一家庭連合編、「救援摂理史の原理観」、『真の家庭と世界平和』(ソウル: 成和社、2000)

世界平和統一家庭連合編、「宇宙の根本を捜して」、『真の家庭と世界平和』(ソウル: 成和社、2000)

世界平和教授協議会編、『学問の現代的認識』(一念、1982)

ソ・カンヒ、『現代学問の体系 — 大学で何を学ぶべきか』(ソウル: 閔雲社、1994)

大池直樹、「日本の性教育に関する研究 — 人間と性教育研究協議会と Pure Love Alliance の比較研究一、修士学位論文、鮮文大学校神学大学院、2003。

- オ・テクヨン、「真のお父さまの御言から見た絶対的性の意味」、『御言と神学』第7集、鮮文
 大学校神学部、2001
- イ・ケハク、「価値観教育とは何か」 1、2、3、『教育開発』85、86、87号、韓国教育開発院、
 1993. 8. 10. & 1994. 1.
- イ・サンホン、「フリーセックス時代の終焉」、『頭翼時代の到来』、鮮文大学校統一思想研究
 院、2001
- チャン・サンホ、『学問と教育』[上](ソウル: ソウル大学出版部、1998)
- チャン・ヘイク、「科学技術時代の人文学と教養教育」、キム・ナムド、『現代の学問体系と
 大学教育 -現代社会と大学-』(韓国学術振興財団、1997)、KRF 研究結果論文
- チョン・ホグン、「普遍的知識人と専門的知識人」、キム・ナムド、『現代の学問体系と大学教
 育 -現代社会と大学-』(韓国学術振興財団、1997)、KRF 研究結果論文
- 統一思想研究院、『統一思想要綱』(ソウル: 成和出版社、1993)
- Akifumi Otani, “*An Idea for Pure Love Education and Unification Thought* (統一思想と純
 潔教育の理念)”、『統一思想研究』第1集、統一思想学会、2000
- Gregory Breland, “A Unification Perspective on Sex Education in American Public
 Schools,” 『統一思想研究論叢』、鮮文大学校統一思想研究院、1996。
- Jose Ortega y Gasset, *The Revolt of the Masses* (New York: W. W. Norton & Co., 1932)、
 pp.107-114. シム・イルソプ訳、『大衆の反乱』(ソウル: クンヨク書籍、1979)
- Sang-Huy Moon, *Pure Love Studies: Origins, Preliminary Outcomes, and Future Directions*
 (Dissertation, University of Bridgeport, Connecticut, 2004)
- Unification Thought Institute, *Explaining Unification Thought* (New York: Unification
 Thought Institute, 1981)